セキュリティ対策ソフトのエラー回避策 (カスペルスキー)

ログオン時に下記のエラーが表示された場合、次の回避策をお試しください。



公開されている「カスペルスキー」のサポート情報に基づいた回避策によって本事象が発生しなくなること を確認しております。

回避策は、<u>http://support.kaspersky.co.jp/9498</u>を実施ください。

また、以下に設定手順を示します。

<設定手順>

①ネットワーク設定より、「信頼するアドレスを選択」。

⊘ カスペルスキー インターネット セキ:	ידעד ? - ×
← 設定	
	● 休葭城能切女氷に心しし唱ち16された女腕を入すヤノタる ♥
フロテクション	○ 常に暗号化された接続をスキャンする
全般	暗号化された接続のスキャンのエラーが発生した場合:
	確認する 🗸
脅威と除外リスト	
	スキャンエラーが発生したドメイン
レポートと隔離	信頼するアドレス
	信頼するアプリケーション
イットリーク設定	✓ SSL 2.0プロトコルでの接続をプロックする(推奨)
インターフェイス	SSL 2.0プロトコルにはデータ転送セキュリティに影響する問題が含まれています。
	✓ EV証明書を使用したWebサイトへの暗号化された接続を復号化する
設定の管理	EV証明書のあるWebサイトのSSL接続を復号化しない場合、ウェブ保護、パナー広告対策、Webトラッキ ング防止、危険サイト診断および保護者による管理はこのWebサイトのトラフィックをスキャンしません。これ により保護レベルが低下します。

②追加を押下。

3 暗号化された接続のスキャン	77	
信頼するアドレス 製品の次の機能が制限される可能性がありま 断、保護者による管理、Webトラッキング防止 ル保護、迷惑メール対策	す:ネット決済保護、 、ウェブ保護、バナー広	
+ 追加		
ドメイン名	25	テータス
リストが空	ल् ब	
	保存	キャンセル

③ドメイン名の追加を実施。「https://」以降のドメイン部を入力、ステータスが有効であることを確認して、 追加を押下。

🔮 暗号化された接続のスキャン	—		×
← ドメイン名の追加			0
ドメイン名:			
hib-st1.suitebank3-test.finemax.net 例:example.com			
ステ−タス: ● 有効 ○ 無効			
追加	ŧ	ャンセル	

④保存を押下。

3 暗号化された接続のスキャン	-		×
信頼するアドレス		6 0	2 0
製品の次の機能が制限される可能性があります:ネ 断、保護者による管理、Webトラッキング防止、ウェフ ル保護、迷惑メール対策	ット決済保護、 「保護、パナー広台	を険サイト 告対策、	ト診 X−
+ 追加 🖉 編集 🗙 削除			
ドメイン名	ステ	-97	
hib-stl.suitebank3-test.finemax.net	C	有効	
保存		キャンセノ	L

⑤保存を押下後、はいを押下。

プロテクション	暗号化された接続のスキャン		
	kaspersky	×	暗号化された接続がス
殺滅と除外リスト	製品の設定を変更しますか?		
レポートと隔離	違訳されていません ~		
ネットワーク設定	(it)	z	
<i>የህ9-711</i> 7	スキャンエラーが発生したドメイン		
設定の管理	除分りストの管理 信頼するアプリケーション		
1418	SSL 2.0プロトコルでの接続をプロックする(推奨) SSL 2.0プロトコルにはデータ転送セキュリティに影響する問題が含	the	11.F.

⑥信頼するアドレスに追加が完了。

● 暗号化された接続のスキャン	- 0 ×
信頼するアドレス 製品の次の機能が制限される可能性があります:ネット 断、保護者による管理、Webトラッキング防止、ウェブ保留 ル保護、迷惑メール対策	G Q ⑦ 決済保護、危険サイト診 夏、バナ−広告対策、メ−
+ 追加 𝔗 編集 × 削除 ドメイン名	ステータス
hib-st1.suitebank3-test.finemax.net	● 有効
2	
保存	キャンセル

- 以上 -